

R4 年度 自己点検・評価報告書

令和4年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

令和5年4月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物実験規則」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 令和4年度（令和5年1月）に、「行政手続きにおける押印省略等の方針を踏まえ、手続様式について押印を省略し手続きしやすくする」および「各様式にて記載が統一されていない為、記載内容を見直し、申請者が作成する際にわかりやすいようにするとともに、動物実験委員会にて確認しやすくする」目的で改訂した。
4) 改善の方針、達成予定時期 今後も法令や動物実験をめぐる環境の変化に合わせて、適宜見直しを行う。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物実験規則」「動物実験委員会規程」「キャンパス動物実験専門委員会規程」「動物実験委員会委員名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会・動物実験キャンパス専門委員会（松江・出雲キャンパス）を設置し、規程で役割を明確にしている。 ・松江キャンパス専門委員会のメンバー（その他学術経験者）の選任に関し、国動協に質問をして基本的な考え方を確認し、適切に委員の選任を行った。 ・出雲キャンパスのキャンパス専門委員会委員の選任条件を変更した（規程の発効は令和5年度）。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

<p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>(1) 「動物実験規則」、「動物実験委員会規則」、「キャンパス動物実験専門委員会規則」</p> <p>(2) 「動物実験計画承認申請書」「審査用紙」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験規則の改訂に伴い必要な事項について関連文書の改訂も実施した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規則」およびその別紙様式第1号「動物実験計画承認申請書」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>「動物実験計画承認申請書」には安全管理に注意を要する実験を適切に管理するため、「6. 承認／届出が必要な実験」として、病原体の取り扱い、遺伝子組み換え実験、麻薬および向精神薬の使用、放射性物質の使用等について申告を必要としている。</p> <p>出雲キャンパスでは、改修工事により、従来よりも高度な感染性実験が実施可能な施設を設置した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規則」、「動物実験委員会規則」、「キャンパス動物実験専門委員会規則」</p> <p>(2) 「動物実験計画承認申請書」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p>

基本指針・飼養保管基準に沿って、管理者、実験動物管理者、動物実験責任者、飼養者が定められている。実験動物管理者および飼養者の視点で不適切な飼養保管が行われた場合、動物実験委員会あるいはキャンパス動物専門委員会に報告され、改善が促される体制となっている。

4) 改善の方針、達成予定時期

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

II. 実施状況

1. 動物実験委員会・キャンパス動物実験専門委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

「動物実験規則」、「動物実験委員会規則」「動物実験計画承認申請書」「飼養保管施設設置承認申請書」「審査用紙」「審査結果通知書」「動物実験実施報告書」「自己点検報告書」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

規則類に基づき動物実験委員会およびキャンパス専門委員会が運営された。

動物実験委員会：Teams による会議を行った。規則類の改訂、動物実験施設の設置承認、動物実験の実施状況の確認、自己点検、およびそれらの実施機関の長への報告を適切に行った。

キャンパス専門委員会：動物実験計画承認申請書について、メール審査を行った。実験動物管理者による予備審査を含め、審査によって 3Rs に関して多くの改善が図られた。

4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

「動物実験計画承認申請書」、「動物実験計画変更承認申請書」、「動物実験実施報告書」「実験動物の購

入記録
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験計画承認申請書に 3Rs に関して具体的な記載を行うようにしており、動物実験委員会の審査によって適切な実施が保証されている。 ・昨年度の課題「動物実験実施報告書の記載の方法が統一されていない。」件について、「動物実験実施報告書」の様式を改定し、実施者に周知して解決された。 ・動物実験に関するマニュアルとして、「炭酸ガスによるげっ歯類動物の安楽死法」のビデオマニュアルを作成した。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験計画承認申請書」、「飼養保管施設設置承認申請書」、「実験室設置承認申請書」、「感染動物実験室使用許可願」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験について、動物実験計画承認申請書の記載から動物実験委員会が内容を把握した。令和4年度に使用された実験動物種には、「特別に安全な取り扱いに注意を要する種」は含まれなかった。また、感染性微生物、遺伝子改変動物の取り扱いおよび試薬等の管理についても、大学のルールに則り適切に実施された。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規則」「飼養保管手順書」「飼育匹数集計表」「飼養者の点検によって発見された異常の記録</p>

(メールを含む)
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>[良かった点] 実験動物の飼養保管に関するビデオマニュアルを作成した。</p> <p>[問題点] 【出雲キャンパス】ケージトップの留めが不十分で、マウスがケージから逃げている事例および新生仔が床に落ちていた事例があった。実験動物管理者や飼養者が不適切な飼養保管を発見した場合、実験責任者に速やかに連絡を取って対応を促し、組織として健全に運営が行えている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼養者による日常点検により発見したルール違反や異常は実験者に速やかに対応するよう指示を行う (継続)。 ・記録を残しやすくするとともに、実験動物部門の職員が情報を共有するため、実験動物部門の発信メールアドレスを設け (dea-doubutsu@med.shimane-u.ac.jp)、R5 年度から運用を開始した。 ・ルールや注意を全体会議で動物実験実施者に講習した (録画して参加できなかった関係者にも常時開示)。

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>「動物実験規則」「飼養保管施設設置承認申請書」「実験動物部門 週報」「改修工事関連資料」「物品購入記録」</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>[良かった点] 昨年度に実施できていなかった施設の維持マニュアルを作成し、運用を開始した。</p> <p>[問題点]</p> <p>【松江キャンパス】空調機/飼育ラックの故障により一時的に飼育環境 (温湿度) の維持が困難となった。なお、実験動物への影響はほとんどないものと考えられた。</p> <p>【出雲キャンパス】改修工事 (第 2 工区) の工事期間中、動物実験施設 (第 1 工区・SPF 施設) の環境が以下の①②のように適切に維持できなかった。また、改修工事期間中は、騒音や振動が大きく、施設全体で動物の飼養に適した環境は得ることが難しかった。</p> <p>①第 1 工区の改修工事で SPF 施設を設置し、外部業者による施設内クリーニングを行ったが、その後第 2 工区工事の関連で頻繁にブレークすることになった。また、空調不良のため、第 2 工区より改修工事に伴う埃が排気ダクトなどから逆に入り込んだため、衛生環境の維持が困難であった。</p> <p>②入手困難を理由に第 1 工区の更新用空調機の導入が間に合わず、令和 5 年 1 月～3 月には空調機的能力不足により SPF 施設を中心とした第 1 工区施設の換気および温湿度調整が行えなかった。オイルヒーター、脱臭ビーズ、空気清浄機などを持ち込んで必死の努力を行ったが、臭気やアンモニア濃</p>

度の著しい上昇など飼育環境／作業環境は過酷であった。
4) 改善の方針、達成予定時期 【松江キャンパス】 空調機、飼育ラックの修理や更新により、環境は安定した。(湿度については、厳密な制御は困難。) 【出雲キャンパス】 改修工事は令和5年3月末に終了し、施設の環境は改善した。実験動物の繁殖への影響や微生物汚染の状況などを今後継続的に確認する必要がある。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物実験規則」「教育訓練の実施日、受講者氏名の記録」「教育訓練に用いた「動物実験の手順等に関するテキスト」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 利用者講習会として法令等に定められた導入教育を実施している。留学生に対するため、英語版の教育資料の作成および英語での利用者講習を行った。改修工事により施設の使用方法が大きく変わったので、SPF 施設および感染実験施設の利用者に現場説明会を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「動物実験計画承認申請書」「飼養保管施設設置承認申請書」「審査用紙」「審査結果通知書」「動物実験実施報告書」「自己点検報告書」 実験動物部門のホームページ (http://www.med.shimane-u.ac.jp/exanimal/index/index.htm)、総合科学研究支援センター教育研究活動報告書（年報）、研究・学術情報機構総合科学研究支援センター〈センター通信〉
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針・飼養保管基準に適合した自己点検および評価を行った。website では、情報公開以外の項目も外部からアクセスが可能で公開すべきでない情報も考慮されずに公開されていた。

4) 改善の方針、達成予定時期

実験動物部門の website を新しくし、公開する情報と学内向け情報を区別して掲示する（令和 5 年上期）。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)